

おおぞみ

# 大宜味



広報 No.214

KOHO OGIMI 2013年1月号

「健康長寿の  
いきいき輝く  
文化の村」



巳年生まれの村内小学生

撮影場所:旧大宜味村役場庁舎 撮影:久高 将和(サン・フォートス)



新年あけましておめでとうございます。

村民の皆さま方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は、村政各般にわたり村民の皆さまより温かいご支援・ご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、12月の衆議院議員総選挙の結果、民主党連立政権から自公連立政権へと国の舵取りが移り、国政上も大きな変革の年となりました。また、沖縄が本土復帰40年の節目を迎え、村内においても式典やシンポジウムなどの記念事業を行いました。一方で、節目の年に県民の反対の声を無視しMV2オスプレイが米軍普天間飛行場に強行配備されました。10月には、村でオスプレイ強行配備に反対する村民大会を開き、オスプレイの即時撤去、米軍普天間飛行場の早期返還など、基地負担の軽減を求める決議を採択しました。

こうした変革の波と復帰40年という節目の1年ではありましたが、村政においては平成23年度沖縄北部特別活性化事業で採択されました「大宜味村企業支援施設整備事業」の整備工事が始まり、企業2社の進出も決定しました。それにより雇用拡大による過疎対策、地域活性化に大きな起爆剤になると期



災害の早期復旧を要請



那覇空港でシークワサーをPR

# 平成25年 新春 村長・議長が語る

待を寄せるところであります。また、沖縄振興特別推進交付金では、結の浜の交流広場用地の利用計画や長寿と癒しの森整備基本計画の策定など観光を中心として事業を展開しているところであります。

昨年、度重なる台風が沖縄本島を襲来し、村内にも甚大なる被害が出ました。地域によっては、未だ完全に復旧に至らないところもあり、今後も村としてできる限り早急な復旧を目指し対応を進めていきたいと思えます。

文化・スポーツ面においては、県の有形無形文化財に指定されている旧大宜味村役場庁舎が八十八歳を迎え、長寿を祈念した「米寿祝（トーハキユーエー）」が開催されました。また、大宜味中学校ソフトテニス部の県中学総体で団体初優勝や喜如嘉小学校の野鳥観察が環境大臣賞を受賞するなど、青少年の堂々たる活躍が、村に活気を与えてくれました。

迎えた年は、2月に全国椿サミット沖縄大会が大宜味・本部・国頭の1町2村で開催が予定されています。企業支援施設工場も完成・稼働し、結の浜での事業が大きく動き出していきます。また、現在、シークワサーPRキャラクター募集事業も進めており、村産業まつりでキャラクターの着ぐるみもお披露目いたします。キャラクターも効果的に活用しながら、特産品のシークワサーを、これまで以上に県内外で「大宜味ブランド」のPR活動を展開して参ります。本年も「健康長寿のいきいき輝く文化の村」を基本構想に、豊かで住みよい村づくり・健康ユイマールの村づくり・心豊かな文化の薫り高い村づくり・安心、安全な村づくりの4本の柱の実現に向けて諸施策を展開していく決意であります。

厳しい財政事情の中、職員一同心を一つにして本村の発展と村民の皆さまの幸せのため最大限の努力をしていく所存でございます。本年も、どうぞよろしくお願い致します。

結びに、村民の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のあいさつと致します。



新年あけましておめでとうございます。  
村民の皆様には平成25年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は日本復帰40周年の大きな節目を迎えました。県内においてさまざまな記念事業が行われ、我が大宜味村でも日本復帰40周年記念事業が行われました。この記念事業で大宜味の将来の展望について活発に議論され、意義ある事業だったと思います。

しかし、この節目の年に日米政府は、米軍普天間飛行場の早期閉鎖・返還を望む県民の声を無視し、安全性に疑問がもたれるMV22オスプレイを強行配備しました。配備後、各地域において合意に反する飛行がなされています。又、米兵による事件・事故もあとを絶ちません。日本復帰40年が経過した今でも過重な基地負担と不平等な日米地位協定により、人権がないがしろにされ、安全安心な県民生活が未だ実現されておりません。

9月9日に10万人を超えるオスプレイ配備に反対する県民大会が行われ、

### 副長 金城 勇



3月完成予定の産業支援施設賃貸工場



2月に開催される全国橋サミット



喜如嘉小の野鳥観察



オスプレイ配備に反対する大宜味村民大会

大宜味村においても、オスプレイ強行配備に反対する村民大会が開かれ、オスプレイ全機撤去と米軍普天間基地を早期に閉鎖・撤去するよう強く要求し、決議されました。

大宜味村議会においても「普天間飛行場へのオスプレイ配備及び那覇軍港使用に反対する意見書」「米兵による女性暴行致傷事件に抗議する意見書」等を全会一致で議決しております。

今後も基地のない村から米軍基地の整理縮小、負担軽減を実現するよう訴えていきたいと思っております。

そして昨年は多くの台風が沖縄を直撃し、大宜味村においても近年にない甚大な被害を被つてしまいました。村議会は「台風による土砂災害及び水害対策を求める要請決議」を全会一致で議決し、県知事・県議会議長・沖縄総合事務局長へ早期復旧に向けて対策をいただけるよう要請してまいりました。

おもしろくない話題が続く昨年ですが、村内の行事や各学校の行事・活動等で明るい話題もたくさんありました。村老人会においては、めでたく創立50周年を迎えられ記念事業が行われました。先人の功績を讃えると共にこれからの活躍と子孫へ素晴らしい伝統・文化を継承されることを心よりお願い申し上げます。

また、喜如嘉小学校在「全国野生生物保護実績発表大会」において、環境大臣賞を受賞しました。誠におめでとうございます。長年の調査・研究が高く評価された取り組みで、今後も継続し、活躍されることを願うと共に、ご支援いただいた方々に感謝申し上げます。

終わりに、本村議会は村民の皆様への負託に応え、大宜味村が抱える諸問題を解決するため、執行機関と切磋琢磨しながら全力を尽くしてまいります。村民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様にとって爽やかな多い笑顔あふれる年でありますよう祈念いたしまして新年のごあいさつと致します。





# 2012大宜味村10大ニュース

去年1年間の出来事を10のトピックにまとめて紹介します。



## ■ 台風被害の猛威 村内各地に大きな爪痕

村内各地に甚大な被害をもたらした台風15号、16号。道路の陥没や倒木、冠水などの被害が出たほか、根路銘地域の土砂災害は甚大で、現在も台風の爪痕が尾を引いています。9月には、内閣府沖縄総合事務局と災害時の情報交換や応援内容等について定めた協定を締結し、10月には、島袋義久村長と山城清臣副村長、村議会議員で県議会や県庁、内閣府沖縄総合事務局を訪問し、復旧の協力を要請しました。



## ■ 企業支援賃貸工場に企業2社の進出が決定

整備を進めている企業支援賃貸工場にミネラルウォーター、環境配慮型のペットボトルを製造するブルーオシャンズ（大宜味村）と、水耕栽培などを手がける沖縄物産企業連合（那覇市）と村上農園（広島市）が新設する沖縄村上農園2社の進出が決定しました。現在、残り1社を公募中。工場の完成は平成25年3月を予定しています。



## ■ 旧大宜味村役場庁舎の米寿を祝う

旧大宜味村役場庁舎が米寿（八十八歳）を迎え、11月17日に米寿祝（トーハキユーエー）が大宜味小学校体育館で開かれました。基調講演やシンポジウムが行われたほか、式典では、建物の設計を担当した故清村勉氏への感謝状が孫の清村正弥さんと親族の幸田亮一さんに手渡されました。また、旧庁舎前には、旧庁舎を題材にした琉歌が刻まれた米寿祝記念碑と説明版も設置されました。



## ■ 復帰40周年記念事業で大宜味村の村づくりを考える

日本復帰40周年記念事業が6月29日、村農村環境改善センターで開かれました。映画会や記念式典、懇親会が行われたほか、「地域づくりは人づくり」と題したシンポジウムでは地域の各種団体長ら6名のパネリストが登壇し、それぞれの立場から今後の大宜味村の村づくりについて語り合いました。



## ■ 喜如嘉小が環境大臣賞を受賞

11月26日に東京で開かれた全国野生生物実績発表会で喜如嘉小学校が事実上の最高賞にあたる環境大臣賞を受賞しました。同校は25年目に入った野鳥観察活動を発表。沖縄県勢で環境大臣賞を受賞したのは5年ぶりとのこと。





### ■ 村老人クラブ連合会創立50周年

大宜味村老人クラブ連合会創立50周年記念式典・祝賀会が5月16日、村農村環境改善センターで開かれ、50周年の節目を祝うとともに一層の飛躍を誓いました。式典では、功労者に村老連会長表彰や感謝状が行われたほか、50周年を記念して募った「長寿の里」琉歌入賞者の表彰も行われました。



### ■ 玉那覇長英さん 春の叙勲受章

2012年春の叙勲受章者に玉那覇長英さんが選ばれました。受章したのは、公的な業務に長年従事したと認められた人が対象となる瑞宝章。玉那覇さんは、喜如嘉小学校校長や大宜味中学校を歴任されるなど、40年余の長きにわたり沖縄県教育振興のために尽力されました。

### ■ 金城笑子さん 地域づくり総務大臣表彰で優秀賞



地域振興に尽力した団体・個人を表彰する「平成23年度地域づくり総務大臣表彰」で2月、笑味の店の経営者である金城笑子さんが優秀賞に選ばれました。村特産品のシークワサーを使った加工製品の商品開発や、地域で食育やグリーンツーリズムを推進するなど、多くの地域貢献活動が評価されました。

### ■ 故 根路銘安昌氏 叙位を受章



元大宜味村長 根路銘安昌氏に内閣総理大臣から叙位（従5位）が与えられ2月16日、知事公舎で次男の根路銘安至氏に伝達されました。根路銘元大宜味村長は、昭和37年から昭和57年までの5期20年にわたる永年の在職中、第一次大宜味村基本構想や過疎地域活性化計画等を策定したほか、各種団体や行政委員の要職を歴任するなど地域行政の振興発展に大きく寄与されました。

## その他主なできごと

- おおぎみむらコン開催（7月）
- 村立学校適正化総合基本計画（素案）住民説明会（8・9月）
- オスプレイ強行配備に反対する大宜味村民大会（10月）
- 村老人婦人合同スポーツ大会史上初 カジマヤーを迎えた玉城深福さん快走（10月）
- ヤンバルクイナのつがい 12年ぶりに大宜味村（大保ダム流域）で確認（10月）
- 大宜味村（シークワサー）PRキャラクターデザイン決定（12月）



### ■ 大宜味中女子ソフトテニス部 団体で初の頂点

7月22日から26日まで行われた県中学校総合体育大会で大宜味中ソフトテニス部女子が接戦を制し、団体初の頂点に立ちました。また、同大会の個人戦で平良結女花・大城真奈ペアが準優勝に輝きました。



# ～ 世界の牡蠣王 ～

## 根路銘出身の宮城新昌と宮城一族 顕彰碑を再建しよう!!

～ 宮城県石巻市に建立されている顕彰碑 ～



### 【宮城新昌の経歴】

- \* 1884年(明治17年)大宜味村根路銘生まれ
- \* 1913年(大正2年)に帰国、日本政府の援助を受け牡蠣の研究技術者育成に努める。
- \* 1925年(大正14年)『垂下式養殖法』を考案、同年牡蠣の養殖・種牡蠣の養殖の最適地として宮城県石巻市の荻浜・万石浦湾を選び大規模な養殖を始める。
- \* その後、外洋でも養殖できる型『延縄式垂下式養殖法』に発展し、三陸海岸全域漁民の経済基盤が確立され生活向上に繋がる。
- \* この栽培法は、国内・海外にも普及し、度々病気に見舞われていたアメリカやヨーロッパの牡蠣までも救った事で新昌が‘世界の牡蠣王’と呼ばれる由縁である。
- \* 1950年(昭和25年)沖縄へ帰り、塩屋湾で牡蠣やクロチョウ貝・マベ貝など真珠貝の養殖が出来ないか試みた。



岸朝子氏

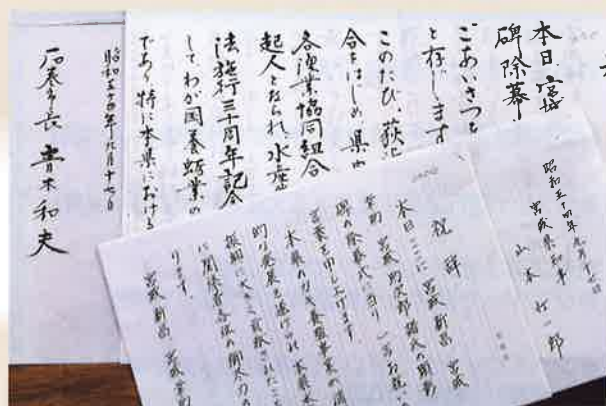
\* 新昌の長女は、たこさんウイナーの考案者で料理研究家の尚道子氏、次女は「おいしゅうございます」で有名な食生活ジャーナリストの岸朝子氏。



## 東日本大震災で顕彰碑が倒壊!!



当時の宮城県知事・石巻市長・地元養殖漁民の有志により、今から33年前に新昌と宮城一族の功績を称え、顕彰碑が石巻市荻浜に建立された。



地元から顕彰碑再建の声が上がる!!

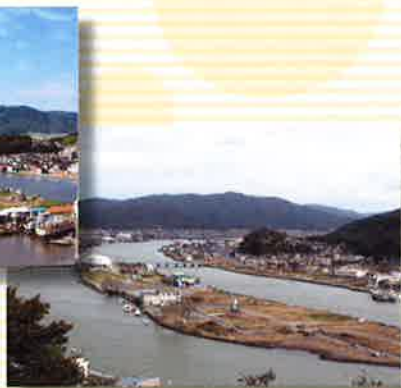
当時の宮城県知事・石巻市長から顕彰碑建立式典に寄せられた祝辞



# “人材を以て資源となす” 村の誇り宮城新昌

～大宜味村民と石巻市民との協力で顕彰碑の再建を!!～

平成24年11月8日に宮城県荻浜の「顕彰碑」再建委員会から  
島袋村長へ顕彰碑再建への援助依頼文書が届いた。



震災前(左)の石巻市内と現在(右)の石巻市

村長宛に届いた顕彰碑再建への援助依頼文書

## 大宜味村顕彰碑再建委員会発足

12月27日(木)島袋村長・金城村議会議長を会長に『大宜味村顕彰碑再建委員会』が発足され、各種団体長・一心会会長・根路銘郷友会会長等の協力の下、顕彰碑再建に向けて本格的に動き出した。

### 《顕彰碑再建の全体スケジュール》

- 平成25年 《1月～》  
\* 顕彰碑再建資金活動  
《6月～》  
\* 顕彰碑造成計画  
《9月～》  
\* 顕彰碑工事着工予定  
《10月～》  
\* 顕彰碑完成予定

### 平成25年1月19・20日 第22回村産業まつりへ 岸朝子氏・畠山重篤氏 参加

宮城新昌氏の次女で食生活ジャーナリストの岸朝子氏とNPO法人森は海の恋人の理事長畠山重篤氏が村産業まつりへ参加します。

### ～ 畠山重篤氏プロフィール ～

\* 畠山重篤 (はたけやま しげあつ)

1943年中国上海生まれ。県立気仙沼水産高校を卒業後、気仙沼市唐桑町にて牡蠣・帆立養殖業に従事する。海を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守る事の大切さに気づき『NPO法人森は海の恋人』を設立。豊かな海を取り戻すために、漁民による広葉樹の植林活動を続け、子供達を養殖場に招き(7,000人を超える)環境教育の為に体験学習を行っている。





# いぎみ

インフォメーション



## 緊急情報

現在本村において発生が顕著に見られる病害虫被害があり、緊急性を要するため情報提供をいたします。

**(アレスミカンナガタムシ)** 葉のふちを食害して小さなノコギリ状の食痕をつけます。幼虫が樹幹を食害するため対策を怠ると圃地が全滅することがあります。

### (軸腐れ病)

土壌中に常在する疫病菌の影響により地際部から樹皮が剥がれ、枯れていきます。衰弱して葉は黄化し、最後には**枯死**に至ります。



詳しい話や資料については

役場シークワサー振興室まで

TEL0980-44-3088(4)

## 農薬の適正使用 講習会について

### 1.趣旨

農薬は農産物を生産するために不可欠であると同時に、農薬使用者や近隣住民、環境に与える影響が懸念されることから、法律に基づき、農薬は適正に使用することが義務づけられています。そこで農薬の安全な使用や適正な使用・保管について講習会を開催します。

### 2.開催日時・場所

平成25年1月15日  
時間 午後2時～4時  
場所 大宜味村農村環境改善センター

### 3.講習内容(変更の可能性有り)

- (一) 農薬を適正に使用するコツどうするかな?
- 沖縄県病害虫防除技術センター
- (二) 消費者が求める安全・安心な農産物とは?
- 沖縄県営農支援課
- (三) 果樹類と野菜類の販売概況報告
- 沖縄県協同青果

### 【お問い合わせ先】

大宜味村役場産業振興課  
TEL0980-44-3232

## 受講生募集!

●各講座 時間: A 平日夜間→午後5時半～午後9時

休 日→午前9時～午後4時(予定)

B・C 午前10時～午後4時

### ●対象 求職者

※受講料・テキスト代は無料です!

### A まちなか観光講座

期 間 平成25年1月9日(水)～2月3日(日)

※平日夜間・休日開催

### 開催場所

名護市地域雇用創造協議会・名護市産業支援センター、ほか  
講座内容 ビジネスマナー、接遇マナーの習得や、名護市の歴史や文化、観光資源の知識を学び、まちなか観光で必要な知識の習得を図ります。まちなか観光案内ガイドや観光関連産業に興味のある方におすすです!

### B 証券外務員二種 スキル習得講座

期 間 平成25年1月10日(木)～2月5日(火) 全18日間

### 開催場所

名護市地域雇用創造協議会  
講座内容 証券会社のコールセンター等での活躍を期待できる証券外務員二種の資格取得に向けた講座です。金融業界初心者の方でも安心の講座です。

### C 一歩踏みだす!ビジネススキル習得講座(BPO編)

期 間 平成25年1月21日(月)～2月8日(金) 全15日間

### 開催場所

北部生涯学習センター  
講座内容 ビジネス基礎スキル(ビジネスマナー、ビジネスコミュニケーション、電話応対等)を習得し、就職を目指す。子育てから復帰したい方、もう一度ビジネスマナーを見直したい方にお勧めです。

★日程等の詳細はお電話にてご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

### 【問い合わせ先】名護市地域雇用創造協議会

(名護市宮里 琉球補聴器2F) TEL43-5571



**満1歳お誕生日おめでとう!!**  
 (おんかー祝い) ☆世界にたったひとつだけのスマイル☆  
 明るく元気で素直に すぐすぐ育ってね



福地 ころら 洗楽くん  
 (喜如嘉)

種々未来の大宜味っ子!

**ご寄付**

◆大宜味村育英会へ  
 大宜味村診療所長  
 内間 恭堅 様 金一封

○塩屋区  
 大宜味村子弟教育のため

**村の人口** 11月末現在

男	1,730人 (-4)
女	1,639人 (-1)
計	3,369人 (-5)
世帯数	1,670世帯数 (-4)
出産	0人 転入 12人
死亡	3人 転出 14人

※注( )内数は対前月比



社協の平良森雄会長に手づくりみそを手渡す神谷正人支店長

**J A おきなわ 大宜味支店女性部 まごころ込めたみそを贈呈**

J A おきなわ大宜味支店女性部(照屋まり部長)は12月21日、村社会福祉協議会事務所のみそ100個を同協議会に贈りました。贈ったのは、同支店女性部が、3ヶ月熟成させて作った無添加のみそ。みその贈呈は、毎年恒例となっており、村社協を通して村内の高齢者に届けられます。宮城久子副部長は「安心して食べられるよう塩分は控えめにしている。愛情を込めて作った味噌を食べ、ますます元気で長生きしてほしい」と話しました。

**1月 January February 大宜味村カレンダー**

1 火 元日	22 火 ◆体験の翼事前研修会
2 水	23 水
3 木	24 木
4 金 ◆村成人式 ◆官公庁仕事始め	25 金 ◆村P連運営委員会
5 土	26 土 ◆沖縄一周郡対抗駅伝大会(~27日)
6 日	27 日 ◆村学推実践報告会(津波小) ※大宜味村教育の日
7 月 ◆区長会 ◆幼稚園・小学校・中学校始業式 ◆村民新春の集い	28 月 幼・小・中振替休日
8 火	29 火 ◆大宜味村立学校適正化総合基本計画(案) 津波小学校区住民説明会
9 水 ◆喜如嘉保育所マラソン・駅伝大会	30 水 ◆大宜味村立学校適正化総合基本計画(案) 塩屋小学校区住民説明会
10 木 ◆やろーよ献血 9:30~12:00 役場第2会議室	31 木 ◆大宜味村立学校適正化総合基本計画(案) 大宜味小学校区住民説明会
11 金 ◆持久走大会(大宜味小・塩屋小)	2月 February
12 土	1 金 ◆区長会 ◆大宜味村立学校適正化総合基本計画(案) 喜如嘉小学校区住民説明会
13 日	2 土
14 月 成人の日	3 日 ◆4小学校学芸会
15 火	4 月 振替休日(4小)
16 水 ◆塩屋保育所マラソン・駅伝大会	5 火
17 木	6 水 ◆体験の翼事前研修会
18 金 ◆持久走大会(津波小)	7 木
19 土 ◆大宜味村産業まつり(~20日)	8 金 ◆体験の翼西会津町訪問(~11日) ◆離乳食実習
20 日	9 土
21 月	10 日



# 村内あれこれ



## 玉城 深福さん 三輪バイクでカジマヤーを祝うパレード

田嘉里区の玉城深福さんのカジマヤー祝いが11月24日、玉城さんの自宅などで行われました。50年前に免許を取ってから、現在も加仕事や買い物など移動手段にバイクを使っている玉城さん。この日も、孫の勇仁さんを後ろに乗せ、祝いの声を掛ける区民らに笑顔で手を振りながら、颯爽とバイクを走らせました。



## 大宜味中ソフトテニス部 男女揃って九州に派遣

大宜味中ソフトテニス部は12月6日、島袋義久村長を訪れ、第40回当山賢一杯の団体戦と第24回名嘉賀昌杯の個人戦で好成績を収め、12月に熊本で行われる九州大会への派遣が決まったことを報告しました。男女揃って九州大会に派遣されるのは、同テニス部初の快挙。主将の宮城耆聖くんは「指導してくれたコーチや応援してくれた地域の人への感謝の気持ちを忘れずに、県代表という自覚を持って九州大会に臨みたい」と次のステップへの意気込みを見せました。



## 自然保護の大切さを学ぼう 大保ダムで植樹体験

森に学ぼうin大宜味村（主催：沖縄コココーラボトリング、同実行委員会）が11月23日、大保ダムで行われ、村内外の親子連れなど約400人が参加し、ダム周辺の環境について学びました。同ダムでは、2009年からシークワサーとツバキなどの植樹と育樹を実施しています。今回は、ツバキの苗木を約30本、ポットに種を約2,000粒植え付けました。また、午後からはエコバックづくりやダム監査廊見学のほか、環境クイズなども行われました。

# キラリ おおぎみ



## 山城春江さん・市田豊子さん

喜如嘉小学校で野鳥観察の指導に力をいれている、同校教諭山城春江さんとNPO法人やんばる森のトラスト副理事長の市田豊子さん。

市田さんは1987年からやんばるの森の保護活動を行っている。同校において今や伝統となった野鳥観察を創設し、25年にわたり指導しづけてきた。「やんばるの貴重な自然を保護するためには地域の人材育成が必要と感じ、学校を通じて地域の子供たちの気づきを促すような環境づくりに取り組んできた。今後も地域の人々が自分の地域を再発見し学んでいける力を広めて行きたい」と熱が込められる。

山城さんは2006年に同校に赴任。市田さんと共に同校伝統の野鳥観察を指導。身近であるがゆえに見落としがちな“地域素材”を野鳥観察という科学の目を通すことで、子供たちが地域特有の魅力に気づき、教科外活動のみならず、国語や算数などの教科にも興味をもって取り組めるように工夫している。「市田先生が専門家として関わってくれているからこそ、児童が興味を持ち続けることができている。今後も豊かな地域環境を活かして、自主性をもった子供たちの育成を行っていきたい。」

本年度、同小学校は野鳥観察で第47回全国野生生物保護実績発表大会において最高賞に当たる環境大臣賞を受賞している。



## 村商工会青年部 りゅうせきで研修会

大宜味村の将来を担う経営者を育成する事を目的とした大宜味村商工会青年部主催の研修会が12月1日、那覇市の株式会社りゅうせきエネプロ本店で行われました。研修内容は「戦略MG（マネージメント・ゲーム）」と呼ばれるもので、会社運営をゲーム形式でシュミレーションし、企業の仕組みの在り方と経営のバランス感覚の必要性を理解するというもの。今回の研修には同青年部が地域活性化を目的に販売したポロシャツの売上の一部が活用されています。